

茨城大学人文社会科学部後援会 各位

後援会総会、学部・学生の近況報告

人文社会科学部学部長・後援会副会長 内田 聡

保護者の皆様方には後援会活動にご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。例年と異なり、4月30日からオンラインでの授業が開始されました。

後援会の総会は、例年であれば6月第3週の土曜日に学部（会場）にて開催し、事業・会計報告や学生の活動について直接ご説明申し上げ、その後学科別に相談会を行っているところです。しかし、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は学部（会場）での総会は行わず、書類を郵送にてお送りし、ご覧いただくことで替えたいと存じます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、状況が改善されれば、秋口に後援会の懇談会を学部（会場）にて開催したいと考えております。開催の折は別途ご連絡を差し上げます。

新学期・オンライン授業の開始

先に触れましたように、授業は4月30日から全面的にオンライン（Microsoft Teams^{チームズ}）で行われています。教職員にとっても初めてのことで、試行錯誤しながらも、学生と一緒に工夫しながら進めています。いろいろと心配もしていましたが、小さな改善点などは出てきますが、想像した以上に順調に進んでいます。教職員よりも、むしろ学生の方が慣れるのが早いようです。あっという間に先端のテクノロジーを使えるようになってきました。

200人規模のオンライン授業でも、学生には課題に回答してもらうなどの工夫をし、できるだけ双方向の授業になるよう心掛けています。たとえば、アンケート機能をもつ Microsoft Forms^{フォームズ} を使って設問に回答してもらうと、瞬時にグラフ化されて結果が出てきます。それを踏まえて授業を進行できるなど、オンラインならではの授業も展開しています。ゼミナール（演習）などでは、10数名に1人の担任がおり、オンラインであってもきめ細やかな対応をしています。さらに、学部独自のTwitterのサイトを開設しました。オンライン授業中では聞きにくいことに大学院生が回答したり、クラブ活動の紹介や質問などのコミュニケーションの支援をしたりしています。

全員が現在の環境下でもきちんとした教育を受けられるよう、教職員一丸となって取り組んでいるところです。一方で、対面での授業の大切さを改めて実感し、新型コロナウイルスが収束して早く学生に会いたいという気持ちを強くしています。引き続き後援会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以下では、総会の議題をご説明します。学修状況や就職活動などについて個別のご相談をご希望の場合は、以下のメールにご連絡をください。学部長・学科長等がご説明を差し上げます。どうぞご利用ください。

お問い合わせ先：hum-kouenkai@ml.ibaraki.ac.jp

総会の議題について

資料は、別途付けておりますので、概略をこの場でご説明します。また、総会の議題については、監事・理事会の承認を得ていますことを申し添えます。ご不明な点がございましたら6月末までに下記のメールへお問い合わせください。

昨年度の学生の活動を後援会のウェブサイトに掲載しています。今年度についてもウェブサイトからご報告いたします。ぜひご覧ください。

また、今年度は入学式後の保護者説明会もありませんでしたので、教育カリキュラムの概要も含めて、活動の概略をPPTの資料として付けました。

お問い合わせ先：hum-kouenkai@ml.ibaraki.ac.jp

ウェブサイト：<http://www.hum.ibaraki.ac.jp/kouenkai/index.html>

◎令和元年度事業・会計

昨年度の決算は、収入が約932万円に対し、支出が約619万円で、差引残高が約313万円となりました（詳細は資料をご覧ください。以下同様）。

具体的な実施事業には、学生の教育研究活動、就職活動や地域貢献活動などがあります。

◎令和2年度事業・予算

加入状況は合計で1,367名です。

収入の約643万円に対し、支出は、約543万円を計画しています。支出予定項目については、「令和2年度後援会事業一覧」をご覧ください。

単年度の「事業・予算作成における方針」は例年と変わりありませんが、数年単位での事業・会計の見通しについて、追加説明をいたします。

活動支援の運営を円滑にかつ安定的に行えるよう、毎年度末に100万円の残高を維持しておきたいと考えます。令和2年度においては、仮に全ての支出が執行された場合（昨年度の執行率は、82%です）、年度末の残高は100万円ほどになります。今年度だけ、あるいは今年度まで予定されている支出は、教室の設備関係、学生へのコロナウイルス感染防止対策、および（大学でのAI・データサイエンス授業が本格化するまで導入している）Googleクラウド活用完全取得講座があり、これらを除くと、年度の会費収入と支出はおおむね均衡しています。残高に目配りをしながら、その都度必要なことを追加で実施していきたいと考えます。

◎令和2年度後援会役員

資料をご覧ください。